

1 まちづくり

(1) 広域連携について

- ① 三遠南信広域連携のこれまでの関わりと磐田市の対応は。
- ② この連携による最も期待している効果と今後の取り組み及び方向性は。
- ③ 中遠地域・中東遠地域の広域連携のこれまでの連携と今後の展開・重点施策について伺う。特に少子高齢化や人口減少についての連携した取り組みは。

(2) 天浜線と地域間連携による活性化について

天竜浜名湖鉄道は地域の足として不可欠な公共交通機関でもあり、また貴重な観光資源でもある。天浜線の特徴を活かし、少子高齢化、公共交通網の整備、そして人口減少の進む地域の一つの活性化策として、また点在する特産品や名所旧跡を一つに繋ぎ、観光産業の振興等を沿線各市町・各駅(地域)で展開していくことも必要と思われる。そこで、民・地域・官が連携し、手始めとして沿線各駅に特産品や名所旧跡の冠をつけた駅名や看板設置等を提案したいがいかがか。

(3) 創業支援と起業家育成について

時代はいつの間にか人工知能や自動運転といったIT・ICT、IoTとなった。時代についていくのが大変であるが、最近では空飛ぶ自動車の実用化に向けたイノベーションが進み、今やドローンの次は空飛ぶ自動車と言われるまでになっている。外国でも国内でも多くの企業やベンチャーが“時”を争い、開発競争を進めている。磐田市や周辺には、自動車メーカーや光工学、コンピューター関連、航空機関連等々の企業が多くあり環境は整っている。働く場とともに起業チャンスのある環境を整備し、中小企業振興のチャンスメイクとして、例えばこの空飛ぶ自動車関連のベンチャーや創業支援の取り組みは新たな需要と雇用にも繋がり、特に若者への大きな地元定着機会でもあると考えられるがいかがか。併せてソラエの組織や加入状況等についての現状を伺う。また特区も一考の余地があると考えられるが考えはいかがか。

2 ひとつづくり

(1) 「地域の子どもは地域で育てる」「地域とともにある学校」について

少子化が進み、地域のコミュニティーが希薄化している。また不審者の出没等防犯・安全対策として、放課後や土日の学校のグラウンドから子どもたちの遊ぶ姿が消えて久しい。経験不足・体験不足、そしてコミュニケーションづくりの苦手な子が多くなり、大きな教育の課題のひとつともなっている。地域の子どもは地域で育てる、地域とともにある学校という基本的な視点から、改めて見直しをしていくことも必要かと思われる。そこで、

- ① 地域の子は地域で育てる、地域とともにある学校とよく言われるが、その理念について伺う。また、その具体化の一つとしてのコミュニティー・スクールの評価を伺う。
- ② 学校運営協議会の中でのこうした議論はあるのかどうか。
- ③ 学校ではなく地域という視点から言えば、地域の中で議論があることが望ましいと考える。具体的には地域づくり協議会ということになる。学校と地域が連携する意義は限りなく大きく、これから地域づくりの大きなキーポイントとなる。運営協議会委員は地域の代表でもある。地域づくり協議会との両輪で地域と学校の議論をすることは重要な一歩と考えるがいかがか。

(2) 介護や医療・防災等々、地域の在り方がクローズアップされている。在宅介護等ではちょっとした気配りで随分と気持ちが癒されると聞いている。地域づくりは隣近所からが起点となるが、お隣同士の適度な声掛けの啓発を考えてみてはいかがか。

(3) 再チャレンジできる環境づくりと規制緩和の先導的役割を

私たちの人権は憲法で定められ何人も平等で公平であることが謳われている。しかし、とりわけ若者が本当に自分の意思で将来に夢を持ち、その実現のために頑張ろうとしている時に「学歴の壁」で挫折、あるいは諦めるということがある。人生には失敗はつきもの、再チャレンジできる環境整備は一部のできる環境にいる者だけではない。この壁で夢を断念する、あるいは時間が余計に費やされることは、残念なこと

ならない。私たち一人一人に平等に、公平でなければならない国家資格取得が学歴だけの理由で拒まれてはならない。本当に頑張ろうという人間が頑張れる社会を創っていくことは私たちの責任である。誰もが頑張れる仕組みづくりの声を地方から、磐田から発信して欲しいものと考えているが市長の見解を伺う。

3 行政全般

(1) 高齢者の足の確保について

① デマンド型タクシーが市内で運用され、市民からも良い評判を聞く。また財政面からも大きな効果がある。しかし改善の要望も多く聞く。最も多いのが診療所等医療機関への乗り入れと他地区との乗りかえがスムーズにならないかという声である。特に磐田北部地区の方々からの要望は多い。アンケート調査等で見直しも定期的には実施していることは承知しているが、乗り入れにおける地区相互のクロス部分と乗りかえの連携について伺う。

(2) 防災対策について

- ① 同報無線のデジタル化により受信できなくなった有償配布の防災ラジオのかわりとなる機器の検討、またラジオ所有者への防災メール登録確認等はされたのか伺う。あわせて現在の登録者の人数とこれまでの年度別推移も伺う。
- ② この防災ラジオが補助機器等の取り付けにより技術的に受信の対応ができるのか伺う。可能な場合には経費も含めどの程度の作業・時間になるのかも伺う。
- ③ 二之宮地内のJR高架下道路（磐福線）の排水能力の向上対策について今後の改善予定があるか伺う。

(3) 安心対策について

- ① 先般、地域防災訓練が行われた。その中でA E Dの講習が開かれた。設定は道路上での突発事故であるが、A E Dの設置個所はあまり多くは知られておらず設置場所も限定的となる。そこで、緊急突発的・人命救助から市内主要交差点への防犯カメラとセットでの設置について伺う。